



平成22年10月28日

各位

上場会社名 ジーエルサイエンス株式会社
 代表者 取締役社長 外丸 勝彦
 (コード番号 7705)
 問合せ先責任者 常務取締役管理本部長 高橋 良彰
 (TEL 03-5323-6633)

業績予想の修正及び投資有価証券評価損の計上に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成22年5月11日に公表した業績予想を下記の通り修正いたしましたのでお知らせいたします。

記

● 業績予想の修正について

平成23年3月期第2四半期(累計)連結業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	8,318	123	107	60	11.85
今回発表予想(B)	7,851	253	242	55	10.87
増減額(B-A)	△467	130	134	△5	
増減率(%)	△5.6	105.5	124.9	△8.3	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	6,865	△228	△248	△244	△47.70

平成23年3月期第2四半期(累計)個別業績予想数値の修正(平成22年4月1日～平成22年9月30日)

	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	1株当たり四半期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	6,269	92	92	55	10.72
今回発表予想(B)	5,387	66	85	△39	△7.63
増減額(B-A)	△882	△26	△7	△94	
増減率(%)	△14.1	△28.1	△8.1	—	
(ご参考)前期第2四半期実績 (平成22年3月期第2四半期)	5,324	△47	△91	△135	△26.49

修正の理由

修正理由につきましては、個別・連結の順で記載しております。

(1) 個別業績予想の修正について分析機器事業の市場環境は民間需要が低迷するなか、公共投資も減少するなど、引き続き厳しい状況で推移したため、コストダウンにも努めましたが、売上高、営業利益及び経常利益のいずれも前回発表の業績予想を下回る見込みであります。

また、四半期純利益につきましては、投資有価証券評価損80百万円の計上により、赤字となる見込みであります。

(2) 連結業績予想の修正について売上高につきましては、半導体事業では新興国を中心に需要が伸びたものの、分析機器事業の業績が低迷しているため、前回予想を下回る見込みであります。

また、利益面につきましては好調な半導体事業の影響により、営業利益及び経常利益は前回予想を上回りました。しかしながら四半期純利益は、当四半期会計期間における個別の評価損を含んだ投資有価証券評価損 83百万円の計上により、前回予想をやや下回る見込みであります。

なお、通期の業績予想につきましては現在精査中であり、第2四半期決算発表時(11月5日予定)に公表する予定であります。

(注) 上記業績予想は、本資料の発表日現在において入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業績は、今後の様々な要因により異なる場合があります。

以上